

岡山白陵高等学校 入学試験 試作問題 国語

本試作問題は、令和八年度入学試験（一期・二期）の問題レベルや出題方針を例示するために作成・公開するものです。50分100点満点で作成しているわけではありません。

説明的文章・文学的文章を出題します。作問方針としては、従来に比べて選択肢の個数や記述の文量を減らします。

次の文章は、和泉式部の和歌と、その和歌についての話し合いの様子である。これを読んで、後の問いに答えなさい。

日の本に①祝はれ給ふいはしみづ参らぬ人はあらじとぞ思ふ
（日本で大切に祭られていらつしやる石清水八幡宮に参拝しない人はいないだろうと思う）

教師 和泉式部は、②平安時代の有名な歌人です。この和歌は、和泉式部が鰯を食べているところへ夫が来て、急いで鰯を隠したところ、夫に何を隠したのかと詰問され、その時に詠んだ歌です。
生徒 石清水八幡宮は有名な神社ですよ。でもどうして急にこの神社のことを和歌に詠んでいるのですか。
教師 いいところに気付きましたね。この和歌にはある技法が使われていて、それと結びつけることで神社のことを詠んだ意味がわかります。ひらがなの部分に注目して、その技法が使われている部分を探してください。
生徒 分かった。「いはしみづ」のⅠの部分だ。その部分がⅡになっているんですね。
教師 そうです。さらに、「参る」について古語辞典で調べてみると、謙譲語と尊敬語の場合があります。謙譲語だ

と、「参上する」「お参りする」「差し上げる」「しし申し上げる」「尊敬語だと、「召し上がる」「なさる」といった意味があります。

生徒 ということは、和泉式部はこの和歌で、誰だつてⅢということを行っているということですね。

教師 その通りです。そして和泉式部がこのようなⅣな和歌を詠んだことで、夫は機嫌が良くなり、夫婦仲が深まったということです。

問1 傍線部①「祝はれ」とあるが、「いははれ」の読みを、現代かなづかいを用いてひらがなで答えよ。

問2 傍線部②「平安時代」とあるが、この時代に成立した作品を次のア～エの中から選び、記号で答えよ。

ア 平家物語 イ 徒然草 ウ 枕草子 エ 奥の細道

問3 Ⅰに当てはまる言葉を、和泉式部の和歌の中から三字で探し、抜き出して答えよ。

問4 Ⅱに当てはまる言葉として最も適当なものを、次のア～エの中から選び、記号で答えよ。
ア 枕詞 イ 序詞 ウ 掛詞 エ 縁語

問5 Ⅲに入る言葉を、七字以内で考えて答えよ。

問6 Ⅳに入る言葉として最も適当なものを、次のア～エの中から選び、記号で答えよ。

ア 荒唐無稽 イ 温故知新 ウ 画竜点睛 エ 当意即妙



問
1

いわわれ

問
2

ウ

問
3

い
は
し

問
4

ウ

問
5

鰯
を
召
し
上
が
る

問
6

エ

(いわしを食べる)